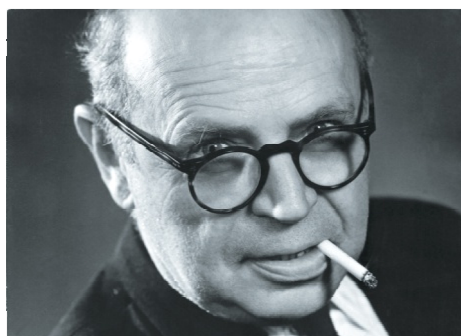


名作ペンダント PH5 と PH50 専用のLED電球が完成しました (2012年8月発売)



PH5のシェードが持つ配光特性を研究して開発された、初めてのLED電球。
従来の白熱電球150W使用時以上の明るさと、省エネ性、長寿命は大きなメリットです。

1958年にデンマークのアーキテクト、ポール・ヘニングセンがデザインし、今も高い人気を誇るペンダントランプ「PH5」と、その50周年を記念して2008年に発売された「PH50」。対数螺旋というカーヴを持つ4枚のシェードを組み合わせた独特なフォルムは、機能的で美しい光を生み出すために設計されています。

PH5とPH50のランプシェードの光の反射のしかた(配光特性)を十分に活かし、これまで以上に明るい光を広げることを実現したこのLED電球の開発は、世界的にも著名な照明デザイナー、豊久将三氏のイニシアティブで始まり、ルイスポールセンと京セラ株式会社のコラボレーションにより完成しました。

LED電球の特徴である省エネルギー性(消費電力18W)、寿命の長さ(約30,000時間)は大きなメリットです。もちろん、PHランプの美しい光は完璧に保たれています。PH5の各シェードの角度と受光量を測定、研究し、このペンダントに最も望ましい光の広がり方を与える光源として設計されているため、LED電球自体の光量(光束1400lm)は150Wや100Wの白熱電球(それぞれ2580lm、1520lm)に及ばないものの、実際の明るさや直下照度は、150Wの白熱電球使用時の明るさを凌ぎます。

各電球をPH5に使用した場合の照度(実測参考値)

	今回のLED18W	白熱電球150W	白熱電球100W	電球色蛍光灯21W
直下照度 器具下60cm (A)	1,020 lux	825 lux	670 lux	420 lux
Aから40cm 横での照度	330 lux	300 lux	230 lux	150 lux

1958年、光源のグレアを最大限カットし光色も補正する照明としてPH5を完成させたヘニングセンは、「このランプにはどんな光源を入れても良い。クリスマスライトあるいは発光虫、そしてあの眩しい100Wの白熱電球だって入れていいのだ。蛍光灯でも構わないが、今はまだ長すぎる。」と言いました。50年以上を経てもPH5の人気は衰えず、専用のLED電球までもが開発されたことをポール・ヘニングセンが知れば、きっと驚いたにちがいありません。

PH5/PH50用 LED電球 (調光対応)

品番: LDA18L-G/D-KCA 京セラ製

Φ: 70mm H: 136mm W: 400g

消費電力: 18W 光束: 1400lm

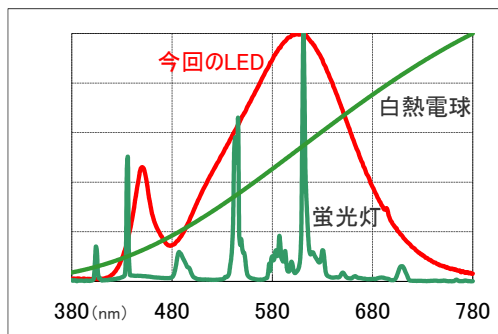
平均演色性評価数: Ra 80

色温度: 2800K 寿命: 30000時間

価格: 9,240円(税抜 8,800円)

ルイスポールセン取扱店にて販売。

* 対応調光器 についてはお問い合わせください。



電球のスペクトル(分光分布)

今回のLED電球の演色評価数はRa 80ですが、スペクトルのカーヴがなだらかであるため照らされるものの色の見え方は、蛍光灯の光によるよりも自然です。